

● 会場案内 ●

大西 秀樹



1986年 横浜市立大学医学部卒業。藤沢病院精神科、横浜市立大学精神科講師、神奈川県立がんセンター精神科部長を経て、2006年埼玉医科大学精神腫瘍科教授、2007年埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授。専門領域は精神腫瘍学、死生学。日本サイコオンコロジー学会前代表理事。我が国で最初に「遺族外来」を開設した。著書に「がん患者の心を救う(河出書房新社)」などがある。2013年日本サイコオンコロジー学会、学会賞受賞。

吉内 一浩



兵庫県生まれ。心療内科医、医学博士。東京大学医学部附属病院心療内科長。1991年東京大学医学部卒。2年間の内科研修の後、1993年東京大学医学部心療内科に入局。米国ニュージャージー医科大学神経科学部門に留学を経て、2004年東大病院心療内科特任講師(病院)、2009年東京大学医学部心療内科学教室准教授、2013年9月より現職。心身医学、行動医学、摂食障害、サイコオンコロジーなどを主な研究分野とする。著書に、「精神腫瘍学臨床エッセンス」創造出版(2012)、「カラー版内科学」西村書店(2012)、「精神腫瘍学」医学書院(2011)、新版TEGII活用事例集」金子書房(2009)、「心療内科実践ハンドブック」マイライフ社(2009)、「プライマリケア医のためのうつ病診療」メジカルビュー社(2009)などがある。

推薦図書

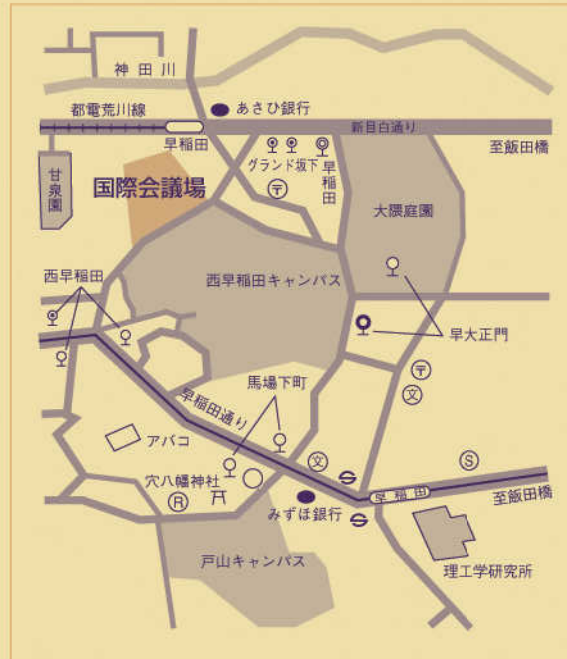
- 「よく生き よく笑い よき死と出会う」
新潮社(2003)アルフォンス・デーケン
- 「新版 死とどう向き合うか」
NHK出版(2011)アルフォンス・デーケン
- 「心を癒す言葉の花束」
集英社新書(2012)アルフォンス・デーケン
- 「いのちを語る」
集英社(2009)木村利人、アルフォンス・デーケン、日野原重明
- 「いのちのバイオエッセンス」
コロナ社(2008)木村利人
- 「クリエイティブ・エイジング」
ライフサイエンス(2006)木村利人
- 「いのちをもてなす」
みずほ書房(2005)大井玄
- 「病から詩が生まれる-看取り医がみた幸せと悲哀」
朝日選書(2014)大井玄
- 「人生の往生-看取りの医師が考える」
新潮新書(2011)大井玄

早稲田大学国際会議場

〒169-0051 新宿区西早稲田1-20-14
TEL 03-5286-1755 FAX 03-5272-2063

(アクセス)

地下鉄東西線「早稲田」駅 徒歩8分
都電荒川線「早稲田」駅 徒歩3分



共催：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会
持田製薬株式会社

事務局：医療法人和楽会
心療内科・神経科 赤坂クリニック
〒107-0052 東京都港区赤坂3-9-18 BIC赤坂ビル6階
ホームページアドレス：http://www.fuanclinic.com
E-Mail：waraku@fuanclinic.com

不安の医学 第22回都民講演会

テーマ

「デス・エデュケーションと看取り」

平成27年2月28日(土)
早稲田大学国際会議場

不安の医学 第22回都民講演会

— テーマ —

「デス・エデュケーションと看取り」

日時 平成27年2月28日(土)
PM1:30開演(開場 1:00)

場所 早稲田大学国際会議場

入場料 無料

<はじめに>

仏教では「生老病死」といって人の経験する4つの苦を説いています。生きること、老いること、病気になること、そして死ぬことです。普段の生活では、こういうことにあまり深刻に考えないで過ごすことが多いのですが、いざ何か病気になったり、身近な人が亡くなったりすると真剣に向き合わざるを得ないテーマです。避けられない運命(さだめ)であるとするれば、よりよい死を迎える、そのためにはよりよく生きる、あるいは医療者の立場であれば、それをいかにして支援するかが重要となってきます。

今回は、こういう重いテーマで「不安の医学」講演会を企画しました。それぞれ高名な先生方にご登壇いただき、「いのち」と「看取り」についてお話をいただきます。この講演会が、皆様のよりよい生活に少しでも役立つ機会となることを祈念しております。

平成27年 陸月

オルガナイザー：野村 忍
早稲田大学人間科学学術院 教授

●PM 1:30～ はじめに

樋口 輝彦
国立精神・神経医療研究センター 総長

●PM 1:40～

「いのちの教育 ～ユーモアのすすめ～」

演者／アルフォンス・デーケン先生
上智大学 名誉教授
司会／野村 忍
早稲田大学人間科学学術院 教授

●PM 2:40～

「いのちをもてなす — 看取りの医師が心がけていること 《認知症高齢者とのコミュニケーション》」

演者／大井 玄先生
東京大学 名誉教授
司会／久保木 富房
東京大学 名誉教授

●PM 3:40～ 特別発言

木村 利人先生
早稲田大学 名誉教授

●PM 3:55～ 休憩

●PM 4:10～

「がん医療の現場から見た生命と心」

演者／大西 秀樹先生
埼玉医科大学国際医療センター
司会／貝谷 久宣
医療法人和楽会 理事長

●PM 5:10～ 指定発言

吉内 一浩先生
東京大学医学部心療内科

●PM 5:25 閉会の言葉

アルフォンス・デーケン (Alfons Deeken)



1932年ドイツ生まれ。1959年来日。1973年フォーダム大学大学院(ニューヨーク)で哲学博士の学位(Ph.D.)を取得。以後30年にわたり、上智大学で「死の哲学」などの講義を担当。カトリック司祭。現在、上智大学名誉教授。「東京・生と死を考える会」、「生と死を考える会全国協議会」名誉会長。1991年全米死生学財団賞、第39回菊池寛賞、1998年ドイツ功労十字勲章、1999年第15回東京都文化賞などを受賞。
主要著作：『よく生き よく笑い よく死と出会う』新潮社、「新版 死とどう向き合うか」NHK出版、「あなたの人生を愛するノート」フィルムアート社、「心を癒す言葉の花束」集英社新書、他多数。

大井 玄



1935年生まれ。1963年東京大学医学部卒。東京大学名誉教授。元国立環境研究所所長。臨床医の立場を維持しながら国際保健、地域医療、終末期医療にかかわってきた。主要著作：終末期医療(弘文堂)、痴呆の哲学(弘文堂)、環境世界と自己の系譜(みすず書房)、いのちをもてなす(みすず書房)、「痴呆老人」は何を見ているか(新潮新書)、人間の往生(新潮新書)他多数

木村 利人



1934年生まれ。早稲田大学第一法学部卒業(1957)。早稲田大学大学院博士課程修了(1964)、博士(人間科学)。1965年、タイ・キリスト教学生運動総主事、タイ・チュラロンコン大学講師、1970年、71年ベトナム・サイゴン大学で研究と教育に従事。その後、1972年スイス・ジュネーブ大学大学院教授、世界教会協議会(WCC)エキュメニカル研究所副所長、1978年アメリカ・ハーバード大学研究員。1980年ジョージタウン大学・ケネディ倫理研究所・国際バイオエシックス研究部長及び同大学医学部客員教授(Bioethics and Family Medicine)など、約40年にわたり、バイオエシックスのバイオニアとして研究と教育に従事。WHO/CIOMS 国際委員などを歴任。恵泉女学園大学・学長(2006～2012)。その後、ジョージタウン大学・ケネディ倫理研究所 特任研究員。早稲田大学名誉教授。東京女子医科大学大学院 特任講師(生命倫理担当)として現在に至る。
著書：『いのちを考える』(日本評論社、1987)、「自分のいのちは自分で決める一生病老死のバイオエシックス=生命倫理」(集英社、2000)など多数。
趣味は、登山、ウォーキングや作詞など。「幸せなら手をたたこう」を早稲田大学在学中に作詞(1959)。1964年・東芝ヒット賞受賞。